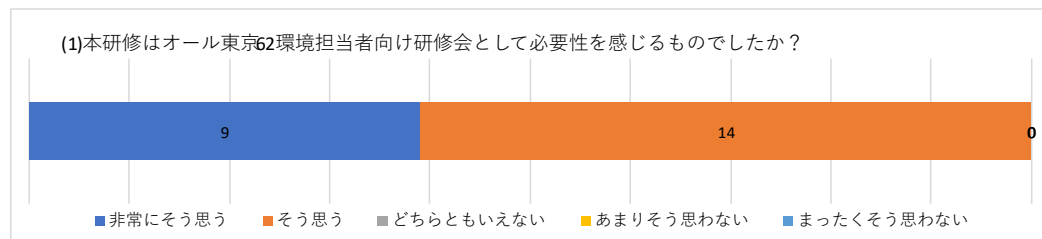


令和 5 年度オール東京 62 環境担当者研修業務

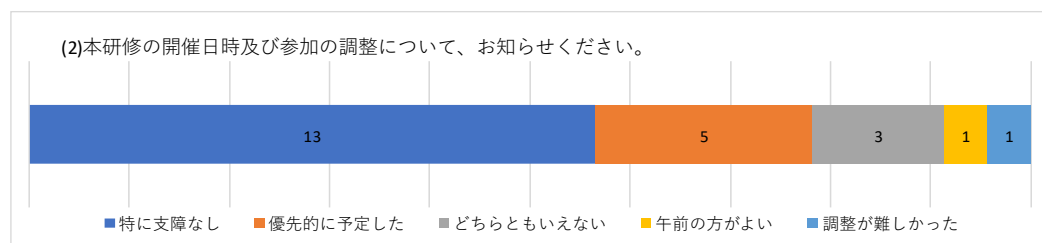
第 2 回環境担当者研修会 アンケート結果の共有

【設問 1】本研修全体についておうかがいします。

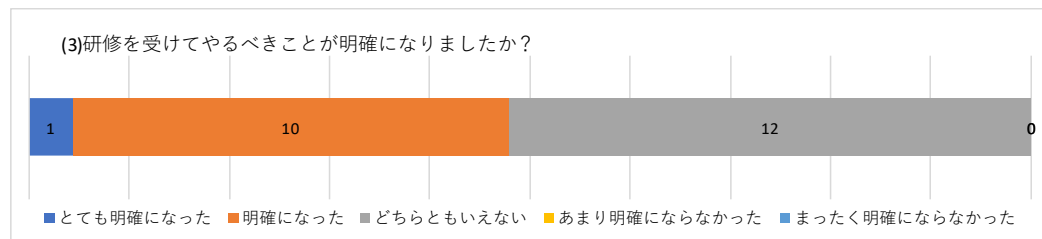
(1) 本研修はオール東京 62 環境担当者向け研修会として必要性を感じるものでしたか？



(2) 本研修の開催日時及び参加の調整について、お知らせください。



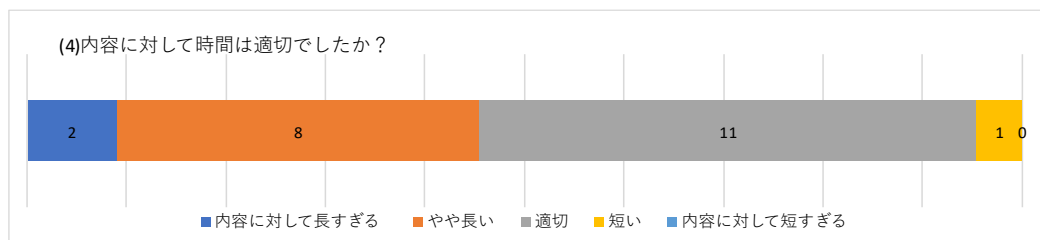
(3) 研修を受けてやるべきことが明確になりましたか？



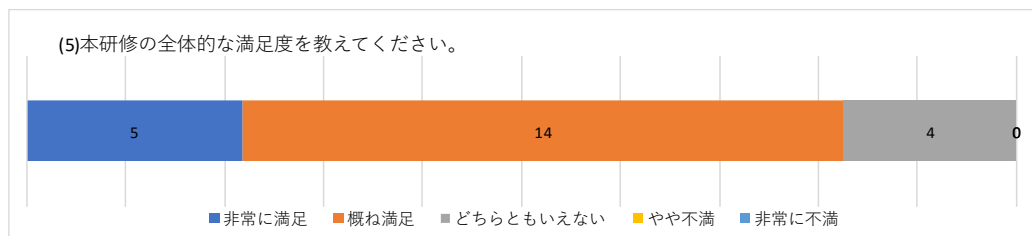
(3) についてコメントがあればお願いします

・ 専門家の意見と事例により、事業への具体性を持てた。
・ 事例で紹介された自治体との財政規模が大きく異なるため、他人事に思ってしまった。
・ カーボンニュートラルに向けて、より具体的な施策を検討していきたいです。
・ 現在、環境基本計画策定中のため、必要な視点、他自治体の先進事例は参考になった
・ 令和 6 ～ 7 年度に、温暖化対策実行計画（区域施策編）、生物多様性地域戦略を包含する形で第三次環境基本計画を策定予定である。今回の奥先生の講義では計画策定を視野に入れた説明があり、非常に参考になった。しかし、気候変動適応法や様々な新しい内容も加わり、何をどのように盛り込んでいく必要があるのか、なかなか情報収集がしきれない部分もあるため、改正のポイント一覧をご提供いただくと大変ありがたいです。
・ 目標や目的が大きすぎて、何から取り組むべきかを決めることが難しいと感じた。

(4) 内容に対して時間は適切でしたか？



(5) 本研修の全体的な満足度を教えてください。



(5) についてコメントがあればお願いします

・ 両自治体とも政令市かつ脱炭素先行地域であり、先進事例として参考になる内容でした。
・ 想定時間を超過が見込まれる場合は事前にそれを見込んだ時間設定で開催頂けると調整しやすい。
・ 協定の内容や現在の世界情勢など詳しく学べて勉強になりました。
・ 基礎知識から地方公共団体として取り組むべき内容が網羅されており、経験年数の浅い職員には大変役立つと思いました。また脱炭素先行地域の具体的取組をご紹介いただき、本区で取り入れることは困難であるものの大変参考になりました。

(6) 研修の中で一番印象に残っている内容は何ですか？

・ 庁内での調整に課題を感じていたが、環境施策無しでは防災施策、経済施策はありえないという言葉に非常に共感しました。
・ 千葉市の取組み
・ 第一部の講義
・ 千葉市の PPA 事業に関して
・ 堺市の事例。いかに予算を投入するかで温暖化への対応の幅が変わることを実感した。
・ 脱炭素は我慢ではなくチャンス、というキーワード。
・ 千葉市の取組が先進的で印象に残っています。
・ 脱炭素先行地域事例紹介（千葉市、堺市ともに）
・ 区域施策編に、削減目標+再エネ導入目標を定めていく必要がある。努力義務だが、これをやらないとゼロカーボンの達成はない。まさにそうなのですが、特に、再エネ導入の部分については庁内では流されている部分であり、今後計画改定を控え、実際に進めていくのに大きな壁を感じています。
・ 先行地域に採択された自治体が新規部署等を新設していたことや全庁的に取り組んでいること。
・ 他自治体の事例は身近かつ取組みを真似できそうなのでよかった。
・ 脱炭素先行地域に選定された2市では、トップも脱炭素に取り組む重要性、緊急性などを理解されている印象だった。 ・ 堺市のエコライフポイント事業が参考になった。
・ 先進的な取組事例の報告
・ 「脱炭素社会に向けた地方公共団体の役割と課題」での奥教授の「環境施策なくして防災も経済もない」というお言葉。

【設問2】各セッションについておうかがいします。

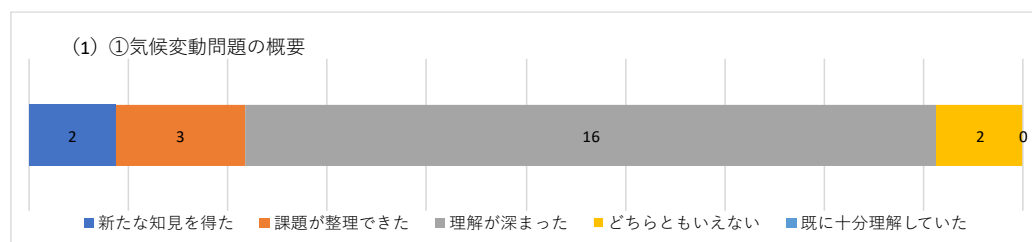
第一部 講義「環境法の歴史と概要」

出席	23 名
----	------

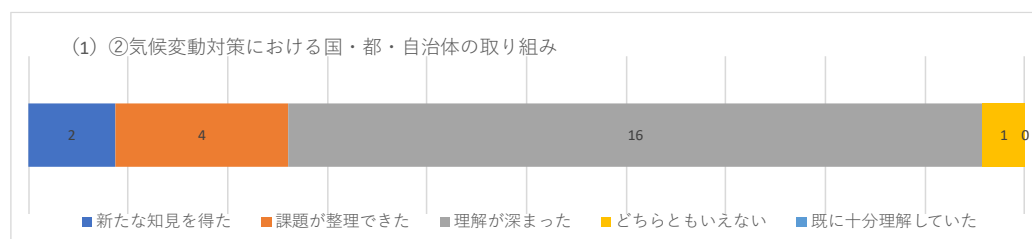
欠席	2名
未回答	9名

(1) 講義内容に対する印象としてもっとも近い項目を選んでご回答ください。

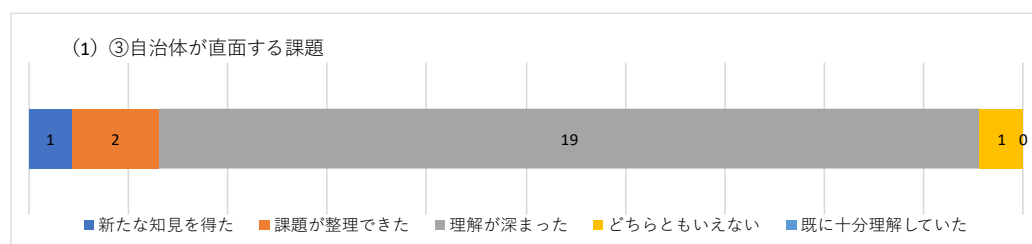
①気候変動問題の概要



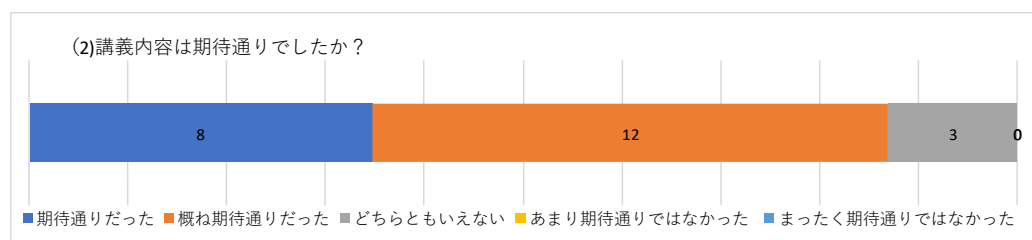
②気候変動対策における国・都・自治体の取り組み



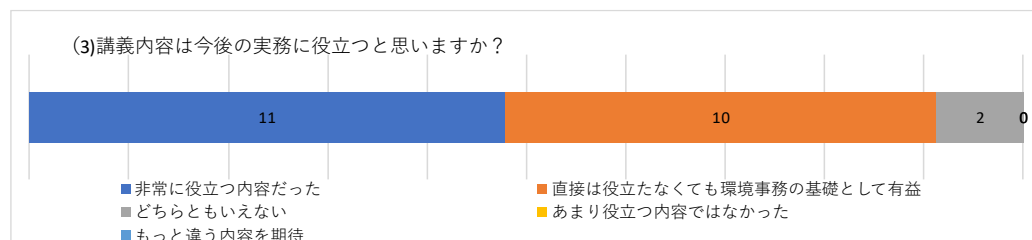
③自治体が直面する課題



(2) 講義内容は期待通りでしたか？



(3) 講義内容は今後の実務に役立つと思いますか？



実務に役立てるための研修内容について、コメントがあればお願いします

- ・ 今年度配属となった身としては、IPCC、パリ協定、温対法の改正といった順を踏んで講義いただけたので、非常に理解が深まりました。
- ・ 温対法等、実務的な部分は国の担当者から直接説明を聞いてみたい。

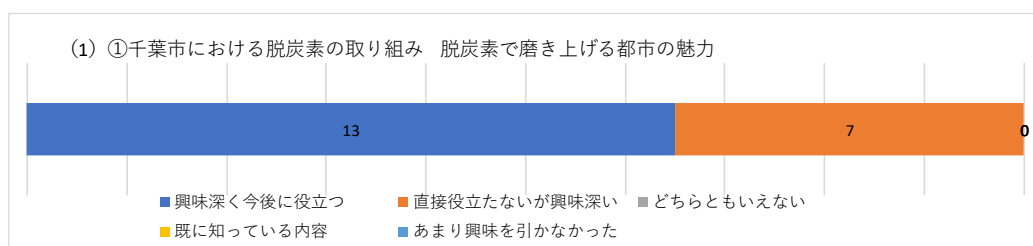
・ 自治体ごとと地域の特性を生かした事業をされており、大変勉強になりました。
・ 現在取組中の大田区環境基本計画策定に役立てていきたい
・ 計画策定のための研修ではないのですが、緩和・適応含め、計画策定のポイント一覧のような資料があると、今後の施策を検討していくための参考にできる。
・ とても盛沢山で、ついて行くのがやっとでしたが区の役割を再確認できました。

第二部 事例報告

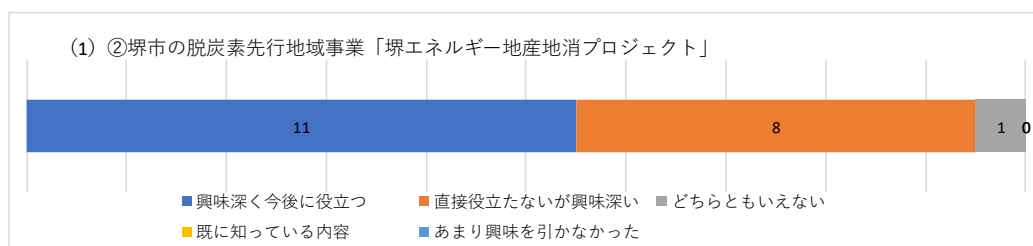
出席	20 名
欠席	6 名
未回答	8 名

(1) 講義内容に対する印象としてもっとも近い項目を選んでご回答ください。

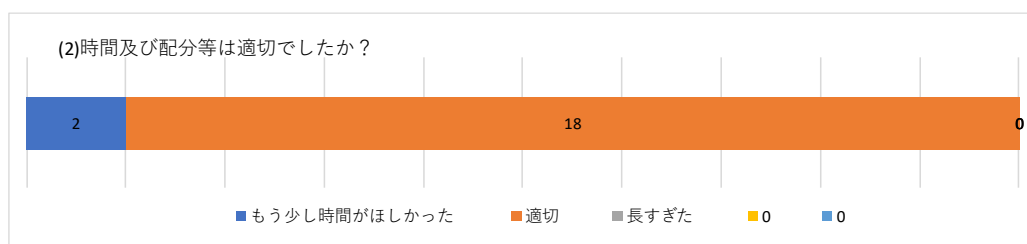
①千葉市における脱炭素の取り組み 脱炭素で磨き上げる都市の魅力



②堺市の脱炭素先行地域事業「堺エネルギー地産地消プロジェクト」



(2) 時間及び配分等は適切でしたか？

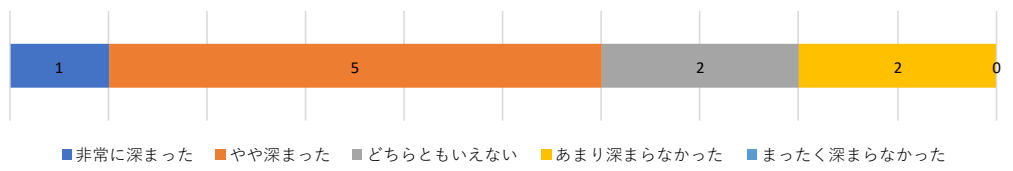


質疑応答・ふりかえりについて

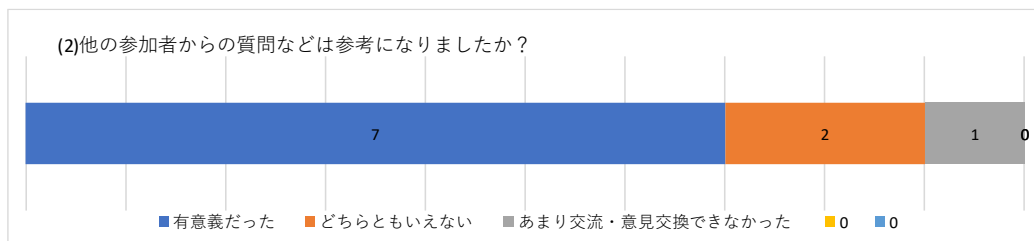
出席	10 名
欠席	13 名
未回答	11 名

(1) 質疑応答・ふりかえりを通して講義内容の理解度は深まりましたか？

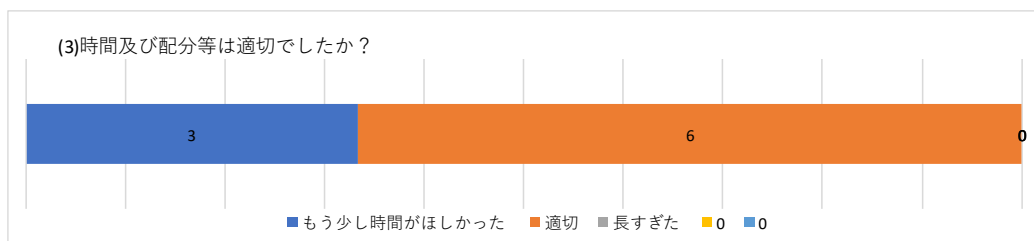
(1)質疑応答・ふりかえりを通して講義内容の理解度は深まりましたか？



(2) 他の参加者からの質問などは参考になりましたか？

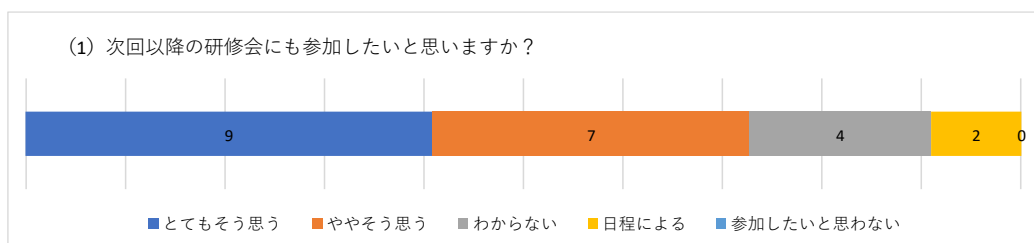


(3) 時間及び配分等は適切でしたか？



【設問 3】 今後の研修についておうかがいします。

(1) 次回以降の研修会にも参加したいと思いますか？



(2) 今回の研修会の良かった点、または改善点など、自由にお書きください。

- ・ 建築物再生可能エネルギー利用促進区域という、直近で立ち上がっているトピックに触れられていてありがたいと感じました。
- ・ 各自治体の担当職員の知識や経験のレベルはまちまちですので、このような汎用性の高い研修も必要かと思います。またお願いいたします。
- ・ 千葉市・堺市の事例報告は、内容が非常に興味深くてもっと深く聞きたいと思ったので、時間が短いのはもったいないと感じた。
これは極端な例だが、事例紹介のみで構成した研修会があっても良いくらいだと思う。
※30～40 分×3 自治体、その後グループワーク等という構成で。
- ・ 全国の自治体のなかでも環境の取り組みに先進的な事例を知ることができ、大変勉強になりました。時間の関係もあるかと思いますが、他の自治体の取り組みももっと知りたいと思いました。
- ・ 職責上、移動時間を含めて時間を確保するのは難しいですが、オンラインだと参加しやすいです。
- ・ 計画改定を控えているため、その辺りも視野に入れた内容が盛り込まれていたことはよかった。
- ・ 先日はお忙しい中、このような研修を開催していただきありがとうございました。
貴重なお話を多く聞ける機会に本当にありがたかったです。
- ・ 時間配分を工夫していただきたいです。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 「脱炭素社会に向けた地方公共団体の役割と課題」は大変有意義な講義内容でしたが、盛沢山で「改正温対法を受けて自治体に求められる対応」以降の各項目を詳しく聞きたかったです。 |
|--|

(3) 本日の研修内容に限らず、環境担当として業務遂行上で困っていることなど、翌年度以降の研修テーマとして取り上げてほしいテーマ・トピックスなど、お書きください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 「再エネ利用促進区域の設定」について、都市計画法では、多岐に渡る地域・地区を設定しており、市町村も都市計画を策定しているため、複雑な想定を行わなければならないという印象を受けていますが、促進区域として規制を緩和することでどのような問題が起こりうるのか、東京都からは具体的な例示がなされていないため、促進区域として適/不適である区域について、過去の（問題となった）事例等について知る機会があれば良いと思います。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ ピンポイントのテーマにはなっていますが「食品ロス」について詳しく学べると有難いです。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 環境に関する企業の開発スピードが加速する中で、注目すべき技術・製品事例を紹介いただきたい。2030 年までに反映しやすいものとして、建築材、次世代太陽光パネルなど。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 改正気候変動適応法への対応（クーリングシェルター・普及団体の指定に対する考え方など）、改正建築物省エネ法における計画策定（促進区域の指定の方法や計画策定の具体例） |
| <ul style="list-style-type: none">・ 役所職員の環境意識が全体的に低い。環境に関することは環境部署が取り組むことと思っているため、私ごととして取り組んでもらえない。多くの自治体でこのことは課題となっているが、皆よい解決策がなく、なかなか前進できていないように思う。それぞれ自治体のやり方はあると思いますが、オール東京で進めていくという姿勢を示していけないでしょうか。その方が環境サイドからの発信もやりやすくなっていくと思います。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 事例報告は非常に参考になるが、今回は大きい規模の自治体であった。スケールメリットがない、当市のような自治体では活用できない事例もあるので、一度の研修で規模の異なる自治体の事例をお伺いしたい。 |